衛生 給排水 設備工事特記仕様書

1. 工事名称　志雄町立杉野屋保育所移転改築工事

2. 工事場所　石川県 志雄町ヌ1 野屋へ3番

3. 工事期間　昭和　年　月　日～ 昭和　年　月　日（　日間）

4. 建物概要
   1. 構造　~~SRC造~~　RC造　~~S造~~　~~W造~~
   2. 階数　地上1階　地下　階　塔屋　階
   3. 面積　建築面積568.028 M²　~~建築延面積~~ 536.309 M²

5. 工事項目
   - (イ)衛生器具設備工事　新設　一式
   - (ロ)給水設備工事　〃　〃
   - (ハ)排水・通気設備工事　〃　〃
   - (ニ)給湯設備工事　〃　〃
   - ~~( )消火設備工事~~　〃　〃
   - (ホ)ガス設備工事（プロパンガス，都市ガス）　〃　〃
   - (ヘ)汚水処理設備工事（単独処理，合併処理）　〃　〃
   - ~~( )さく泉設備工事~~　〃　〃
   - ~~( )融雪設備工事~~　〃　〃

   ※敷地内既存衛生機器、及び配管類及び配管付属品共全て撤去処分とする。

6. 一般事項
   1. 本工事は本設計図，建設大臣官房庁営繕部機械設備工事共通仕様書及機械設備工事標準図，建築基準法及同施工令，消防法及同施工令，その他関係法規に基づき係員の指示に従い入念に施工すること．
   2. 図面及仕様書に内容の相違がある場合，明記のない場合，又は疑義を生じた場合には全て係員の指示によること．
   3. 施工者は工事着手前に施工図を作製し係員の承認を得ること．
   4. 本工事の施工に必要な官公署への手続きは請負者に於て遅滞なく行ない書類の写しを係員に提出する．これに要する費用は請負者の負担とする．
   5. 現場の納まり，取合い等の関係で材料の寸法，取付位置または取付工法を多少変更し，あるいは取付員数を増減する等の軽微な変更は係員の指示により行なう．この場合請負金額の増減はしない．
   6. 協力業者及使用機材の製作者名簿を係員と協議の上作製し提出すること．
   7. 機器及材料は仮設用及特に記載されたもの以外日本工業規格に適応するもので，すべて新品とする．また必要に応じて係員の立合検査を受け合格したものを使用する．これに要する費用は全て請負者において負担する．
   8. 各工事は予め係員及本仕様書の指定した工程に達した時は検査を受けること．工事中及竣工の時係員の指示する各種試験を行なう．これに要する電力，水道，ガス，油等の費用は全て請負者の負担とする．
   9. 工事写真は係員の指示に従い，施工状況及特に報告の必要のある箇所（竣工後見え隠れとなる主要部分）を撮影し提出する．
   10. 工事完成の上は全設備の試験及検査を受け官公署その他の許可証，検査証を提出する．また竣工図製本3部，竣工写真アルバムを添えて工事完成後30日以内に提出する．

7. 提出書類
   工事請負者は，本工事に関する書類及図面等を提出し，係員の承認を得ること．概要下記の通り，詳細は別途指示する書面による．
   1. 工事着手前に提出するもの．
      1.工事工程表　2.メーカーリスト　3.承認図　4.施工図
   2. 工事中に提出するもの．
      1.工事工程写真　2.各種試験データー
   3. 工事竣工後に提出するもの．
      1.工事竣工写真　2.竣工図（竣工後1ヵ月以内）　3.機器取扱保守説明書　4.機器保証書

8. 優先順位
   本工事に関して重複して相矛盾する場合の優先順位は次の順位とする．
   1.質疑応答書　2.特記仕様書　3.設計図　4.共通仕様書

9. 別途工事
   1. 建築工事　受水槽築造工事　煙突築造工事　雨水竪樋及ルーフドレイン取付　梁貫通穴補強工事及鉄骨梁貫通スリーブ　厨房器具及据付工事　各種点検口　プロパン庫　湯沸室内流し類
   2. 空調工事　給油設備工事
   3. 電気工事　一次側電気配管配線工事　水位制御及警報配管配線工事
   4. その他　プロパンガスホンベ

10. 工事仕様

(イ)衛生器具設備
1. 衛生器具は指定色を使用のこと．
2. コンクリート壁に器具を取付ける場合はAYラグボルトにて堅固に取付のこと．タイル目地等の見え掛りは体裁良く取付のこと．
3. 陶器の一部がコンクリート壁に埋込まれる場合厚さ3%以上のアスファルト被覆及目地込を施し，コンクリート及モルタルに陶器が直接密着しないよう保護すること．

(ロ)給水設備
1. 概要　~~重力方式~~　水道直結方式　~~圧力方式~~
2. 使用材料
   - ~~水道用亜鉛鍍鋼管　(JIS G-3442)~~
   - 塩ビライニング鋼管　(JWWA-K-116 白ガス管使用)
   - ~~水道用耐衝撃塩ビ管　(JWWA-K-118)　HI管~~
3. 弁類　直圧部 JIS 10kg/cm²　タンク下り以降は JIS 5kg/cm²　65A以上は鋳鉄製．50A以下は
4. 揚水ポンプ
   1）揚程30m以上のチャッキ弁はスモレンスキー型を使用する．
   2）サクションカバーユニット付とする．
   3）液面制御棒，保持器及取付工事は本工事とする．
   4）ポンプ基礎は全て縁付50%以上立上げモルタル金ゴテ仕上とし排水設備を設ける．

(ハ)排水通気設備
1. 概要　分流方式　~~合流方式~~
2. 使用材料
   - ~~排水用鋳鉄管　汚水~~
   - ~~排水用鋼管　ドレーナン継手　雑排水　通気~~
   - 硬質塩化ビニール管　汚水，雑排水，通気
   - 排水用鉛管 (HASS 203)　器具接続
   - ~~ヒューム管 B型 150A以上　屋外排水~~
3. 鉛管のコンクリート埋設部分及貫通箇所にはアスファルトジュート手段巻焼付とする．
4. 汚水桝及雑排水桝は別図標準図を参照のこと．

(ニ)給湯設備
1. 概要　~~中央式~~　局所式
2. 使用材料
   - 脱酸銅管　(ASTM B-88-L型)
   - ~~塩ビライニング鋼管　(JWWA-K-116 白ガス管使用)~~
3. 弁類　JIS 5kg/cm²

( )消火設備
1. 概要　屋内消火栓　連結送水管　屋外消火栓　スプリンクラー　消火器具
2. 使用材料　亜鉛鍍鋼管　(JIS G-3452 白ガス管)
3. 弁類　JIS 10kg/cm²
4. 消火ポンプ　チャッキ弁はスモレンスキー型，サクションカバーユニット付とする．消防法施工令規則に適合する性能を有すること．
5. 屋内消火栓
   - 形式　自火報併用型
   - 内蔵品　消火栓 40A×90°　ノズル 40A×13A
   - ホース 40A×15m×2本　ホース掛 23R回転式
   - 表示文字　塗装　指定色
6. テスト弁　40A×90°カップリング付

(ホ)ガス設備
1. 概要　プロパンガス　~~都市ガス~~
2. 使用材料　亜鉛鍍鋼管．(JIS G-3452 白ガス管)
3. 都市ガスの施工に当っては所轄官庁及供給公社の規定に基づき施工のこと．
4. プロパンガスの施工に当っては「高圧ガス取締法」「家庭燃料用プロパンガス取締基準」等の関係法令に基づくこと．

(ヘ)汚水処理設備
1. 概要　単独処理　~~合併処理~~　ばっき式　20人槽

(ト)厨房機器設備
1. 概要　図面参照

( )さく泉設備
1. 概要

( )融雪設備
1. 概要
2. 使用材料　亜鉛鍍鋼管 (JIS G-3452 白ガス管)

11. 各種配管工事
1. 配管の施工に先立ち他工事の管類及機器との関連事項を詳細に検討，施工図を作製し，配管の梁・壁・床等の構造体を貫通する箇所はコンクリート打までに配管用のスリーブそう入及インサートの取付を行なう．
2. 管の切断は全てその口径を縮少しない工具を用い管軸芯に対し直角に切断し，その切口は平滑に仕上げ接合前に管内を点検異物のないことを確かめ切りくずを充分清掃の上接合する．また，配管の施工を一部休止する場合は管内に異物が入らないよう開口部には栓(プラグ)を施す．
3. 管の地中埋設深さは，一般敷地では450%以上，車両通路では750%以上，重車両通路では1,000%以上とする．
4. 配管が防水を施した壁または床等を貫通する場合はスリーブ管につばを溶接したものを構造体の中央部に納め，間隙はコーキング材で充分水密にする．
5. 建築基準法施工令第129条の2の第1項第7号に該当する防火区画などを貫通する配管はその貫通する部分の前後1,000%及防火区画の各階を貫通する竪管をロックウール保温材にて保温を施す．
6. 防露被覆を行なわない配管で天井・床・壁等の貫通する見え掛り部は管座金を取付る
7. 室内配管の保温・防露等の小口及見切部分にはステンレス菊座をまた分岐・曲り部等にはバンドを取付ける．
8. 床を貫通する配管は，被覆材を保護するため床面より少なくとも150%までをステンレス鋼板で保護する．
9. 鉛管をコンクリート内に埋込む時は，特記のない限りアスファルトジュート巻とする．
10. 横走り管は空気溜りを生じない様に配管し，必要な場所にはエアー抜弁，ドレーン弁を取付ける．
11. 配管には取外しの容易なように適当な箇所にフランジ継手を設ける．
12. 機械室内，ポンプ室内及パイプシャフト内の配管には名称及系統名を記入する．

12. 防露・保温及塗装仕様
1. 給水，排水，消火栓管　フォームポリステレン保温筒
   給湯管　グラスウール保温筒

屋内露出	保温材，厚紙及綿布巻	下塗目止，指定色O.P.2回
天井内，PS内	アルミ箔貼り以外の防露材は麻布巻又はビニールテープ巻	
床下，暗渠内	保温材アスファルトジュート焼付	
浴室・厨房等の多湿箇所	保温材，アスファルトジュート焼付又は特記により外面亜鉛鉄板巻	亜鉛鉄板巻の場合「屋外露出」に準ずる
屋外露出	保温材，アスファルトジュート焼付の上外面亜鉛鉄板巻	下塗りはワッシュプライマー，又は亜鉛末さび止めペイント1回，指定色O.P.2回
土間，コンクリート内の埋込管	アスファルトジュート焼付．給湯のみ保温材アスファルトジュート焼付．	
地中埋設		コルタール2回塗り
裸管（鉄管）		「屋外露出に準ずる O.P.1回

2. 保温厚

	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300以上	
給排水管及消火管	20	—	—	—	—	—	—	25	—	—	40	—	—	グラスウール
	~~20~~	~~—~~	~~—~~	~~—~~	~~—~~	~~—~~	~~—~~	~~—~~	~~—~~	~~—~~	~~—~~	~~30~~	~~—~~	~~フォームポリスチレン~~
	20	—	—	—	—	25	—	—	—	—	40	50	—	ロックウール
給湯管	20	—	—	—	—	—	—	25	—	—	40	50	—	ロックウール
	20	—	—	—	—	—	—	25	—	—	40	—	—	グラスウール

13. 試験
   各種試験は防露保温工事及配管埋設工事着手前に係員立合の上行なうこと．
   1. 水圧試験
      - 上水道直結系統　17.5kg/cm²
      - タンク下り系統　10.0kg/cm²
      - 揚水系統，消火栓系統　最高使用圧力の2倍（最低10kg/cm²）
   2. 満水試験　屋内排水系統
   3. 気密試験
      - プロパンガス系統　高圧側18kg/cm²，低圧側700mmAq
      - 都市ガス系統　250mmAq

設計年月日	工事名	図番
2026.3	旧北部保育所解体工事	M-01
訂正	整番 25057 / 標題 既存 設備工事仕様書	縮尺 A1=NS A3=NS